

9月21日 神明町（ふれあい会館にて）

<主なやりとりと対応状況>

* 対応状況は⇒です。

【町役場の建替えについて】

○ 葬儀場の東側は、どのように活用するのか。

⇒ 3階建ての別棟を建てる予定です。1階は駐輪場にし、2階と3階は執務室や倉庫として活用する予定です。現時点では、あくまでも予定であり、今後、設計事業者からの提案をいただくことになっています。

○ 新庁舎の整備には、カーボンニュートラルなどの環境へ配慮した取組みを進める考えはあるのか。

⇒ 環境に関する取組みには、様々な指標や基準が設けられています。それらの指標や基準に沿って、ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）に合致した新庁舎を整備するように要求水準書を作成しています。二酸化炭素の削減のほか、断熱などによる省エネルギーに向けた庁舎整備を進めます。

【町内の課題など】

○ 町でも色々と頑張ってもらったが、大磯駅北側の石垣が壊され開発が進んでいる。大磯町には景観計画がある。良好な景観や歴史、環境は、他の地方公共団体との差別化を図ることができるものである。景観計画が絵にかいた餅とならないように、このような取組みに力を入れてほしい。

⇒ 大磯駅北側の石垣については、残すことが叶わず残念に思っています。このようなケースにおいて、もう少し権限が持てるように研究していきます。

○ 近所に手入れがされていない土地がある。雑草が繁茂しており、草刈りをしても刈り取った雑草がそのまま放置されている。

⇒ 具体的なお話があれば、火災予防の観点から、土地の所有者には消防署から働きかけるように指示します。

○ 人口減少対策を考える際には、空き家対策も同時に考えてはどうか。

⇒ 町内には約1,000軒の空き家があり、数年前に適正に管理されている空き家400軒から500軒に通知して、空き家バンクを開設しました。令和6年度から令和7年度で改めて通知して、空き家バンクへの登録を呼びかける予定です。特に大磯地区では住宅が不足しているので、不動産会社にも協力していただき、空き家をうまく活用していただくように進めていきます。

- 設置者の初期投資なしで太陽光発電システムを導入できるという神奈川県の実績があったと思うが、その実績には、太陽光発電システムの使用後の廃棄費用が含まれているのか。
 - ⇒ 調べたところシステムの廃棄費用が含まれていません。
なお、新庁舎については、設置する太陽光発電システムでの発電で、庁舎内消費電力の一部を賄うことを想定しています。
- 大磯町が、大阪・関西万博の万博国際交流プログラムに選定されたと聞いたが、どのような内容なのか。また、町内の子どもたちを万博に招待することは考えているのか。
 - ⇒ 12月21日に大磯プリンスホテルで「大磯こどもサミット」を開催しました。大磯町では、大磯ロータリークラブがウガンダ共和国と交流しており、そのような経緯もあり選定されたものです。予算の関係もありますが、できれば町内の子どもたちを万博に参加させたいと考えています。
- 大磯町の人口は2040年には4,000～6,000人も減少するとのことであるが、人口ピラミッドはどうなるのか。
 - ⇒ ほぼ逆三角形になります。今後は空き家をうまく活用して人口を維持していきたいと考えています。
- 国府地区では、都市計画区域の線引きが変更となるのか。
 - ⇒ 若干変更となり、市街化区域が少し増えることとなります。市街化区域を増やしたいと思っていますが、今後の人口が増える見込みがなければ、市街化区域を広げることとはできないという神奈川県の実践があり、非常に難しい状況です。
- 先般の台風10号では、三沢川の河口はどのような状況であったのか。
 - ⇒ 三沢川の河口付近で河川の水が溢れたり、浸水したということはありませんでしたが、国道1号の三沢橋付近の道路が冠水して数件の床下浸水の被害がありました。これは、河川の氾濫ではなく、雨水の処理が間に合わなかったことによる内水氾濫のような状況でした。大磯町は雨水を処理する雨水管の整備が遅れていますので、しっかりと整備を進めていきます。

以上